

令和８年（第２７回） 放送番組審議会議事録

開催日時 令和８年３月１０日（火）
１０：００～１２：００
開催場所 ケーブルメディアワイワイ ２Ｆ 会議室

〈在任審議委員数〉 11名
〈出席審議委員数〉 8名

〈出席審議委員氏名〉 敬称略

牛島 宏（委員長）

吉田 将大 森下 由輝 野中 賢一 小田 司 佐藤 清香 甲斐 典明 後藤 紀子

〈番組審議会進行役〉

牛島 宏 （委員長）

〈放送番組審議会成立の確認〉

株式会社ケーブルメディアワイワイ放送番組審議会委員11名の内、過半数を超える8名出席。
本会が成立していることが確認された。

〈事務局出席者氏名〉

高野 剛一 佐川 大貴 上原 可和恵 安藤 幸加 植木 あずさ

1. 開会挨拶（委員長）

2. 審議委員の紹介

- ・ 審議委員の挨拶
- ・ 事務局の挨拶

3. 報 告

『令和7年度自主制作番組放送実績について（報告）』

◆事務局報告（報告：事務局 上原）

■令和7年度自主番組放送実績報告

1. 自主制作チャンネルの報告

111ch 情報チャンネル
データ放送・災害情報・議会中継・選挙の開票速報等

121ch 全国のCATVの制作番組を放送（えんてれ）

999ch ワイワイチャンネル
ワイワイエリア（延岡・門川・日向・高千穂・日之影・美郷・都農・川南）
の情報を中心に放送

2. 令和7年度の自主制作番組の放送実績の報告

令和7年度コンテンツ制作方針

2023年度から「様々なコンテンツで地域を安心・安全で楽しく豊かに！」をテーマに掲げ、コンテンツ制作に取り組んでいる

TVだけではなく、NETやSNS・ラジオ・延岡駅前w a i w a i P L A Y L A Bなど、あらゆる媒体を活用し、より良い情報発信に努め、地域住民にとってなくてはならないメディアを目指して、「人與人」「地域と地域」をつなぐコンテンツ制作に取り組み、特に今年度は

- ① 住民参加型コンテンツ
 - ② 新規コンテンツ開発
 - ③ 他社との連携
 - ④ メディア発信力の強化
- の4つの目標を掲げ、取り組みを進めてきた

(1) 住民参加型コンテンツ

◇ワイワイテレビ部

ワイワイテレビを身近に感じてもらおうと、地域住民に部活動感覚で番組制作に参加してもらう「ワイワイテレビ部」の活動を2023年から行っている。

①新企画 ワイワイテレビ部全力おたすけ隊！

テレビ部員とよしもとの宮崎県住みます芸人が視聴者からの依頼を全力で“おたすけ”するコーナー

「昔食べた給食メニューをもう一度食べたい」「フードバンクの取り組みを知ってほしい」など多岐にわたる依頼に応えてきた。

②制作ワークショップ

「自分たちでも制作できるようになりたい」との意思が芽生えてきたメンバーに向け撮影のノウハウを基礎から学べるワークショップを開催
全4回の実践型形式で映像制作のいろはを学ぶ

◇Wa！FULL公開収録

w a i w a i P L A Y L A Bの活用に関して、今年度は、広く市民に親しんでもらおうと新たな取り組みにも挑戦。

「見て楽しい！出て楽しい！」

月に1度、ワイワイプレイラボで公開収録を実施。MCとの触れあいや観覧者を交えた企画などを通して番組を見るものから参加するものへ。(1年間で150人以上が来場)

「年始スペシャルも公開収録」

番組尺を1時間に拡大・新年にちなんだコーナーを制作。

2026年 きっと“ウマ”くいく！馬力全開でがん馬っちゃおうSP

・ワイワイテレビ部「にんじんを目の前にぶら下げると足が速くなる説」を検証

・堺たいよう「ご来光拝みミッション！行滕山登山」

・参加型企画「赤ちゃんハイハイレース」

視聴者からは、トイレを忘れるくらいずっと観ていた。色んな企画があって楽しかった。などの声をいただいた。

◇コネクリ延岡

全国公募で選出した15組の映像クリエイターが延岡に滞在しながら市民協力のもと縦型ショート映像を制作

(メンターはかもめんたる岩崎う大氏)

※昨年に続きワイワイテレビ部員も作り手として参加

■市民出演・ロケ地等協力 900人

■延岡発映像 54作品

■合計再生回数 2,000万回超

(※2023～2025の累計実績)

◇アウトオブキッザニア i n 延岡

wa i w a i P L A Y L A Bでの公開収録のノウハウを生かし
実際の収録と同じ環境で仕事体験を実施
「キャスター」「カメラ操作」などの役割に分かれて
全員で番組を制作するプログラムを提供
収録した番組はニュース内で「こどもNEWS」として放送

(2) 新規コンテンツ開発

◇ひむか遺産

地域の歴史・伝統芸能・民俗文化をリポーターとガイドが巡りながら紐解く番組
(リポーター：福元麻子)
番組理解の補助として、人物をアニメ化したり、当時の風景をA Iで表現したりして、「分
かりやすく興味を持ってもらえるような演出」を心がけている

◇スナックエスト

サラリーマン角田宇半助はスナックの新規開拓がライフワーク
今宵はどんな出会いがあるのだろうか…。WEBアプリ「スナックエスト」と連動した
ドラマ仕立てのスナック探訪コンテンツ
WEBアプリ「スナックエスト」は、新型コロナの影響などで厳しい状況が続くスナックを
はじめとした夜の飲食店を応援しようと、昨年リリース

◇みんなの防災ノート

ノートに書き留めるように防災についての知識を学ぶことで、防災意識の向上を目指すコー
ナー。ワイワイのバーチャルキャスター・アリスと自治体職員がQ&A方式で施設や取組み
などを紹介。

(3) 他社との連携

◇テレビ宮崎 (UMK)

- ・ゴールデンゲームズ i n のべおか共同制作 (5月)
今年度も共同制作し全レースの実況中継を行った
 - TV中継 (999ch・えんてれ)
 - Y o u t u b e 生配信 (約14万回再生)
 - ※UMKは後日メインレースを収録放送
- ・延岡市長選挙 (7月)
互いのリソースを補うためにUMKから記者2人を派遣
3陣営のうち2陣営は「記者 (UMK) +カメラ (ワイワイ)」という形で連携
 - TV中継 (111ch)
 - Y o u T u b e 生配信 (2.4万回再生)
 - ※UMKは後日ニュースにて放送

◇日本放送協会（NHK宮崎）

・コンテンツ交換

コンテンツを交換することで互いにリソースの確保も図る

■ワイワイ→NHK：特集・知って区など（7分前後）

■NHK→ワイワイ：防災コンテンツ（1分～3分半程度）

◇夕刊デイリー新聞社

・特別番組「つなぐ人々～戦後80年、平和を未来へ～」

戦後80年を迎え、戦争体験者が年々減少する中

戦争を伝える活動をしている 夕刊デイリー新聞社社長の坂本光三郎さんを紹介

市民大学での講演など 坂本さんの活動の様子を通して

戦争を知らない世代が平和のためにできることを考える内容

◇宮崎放送（MR T）・宮崎ケーブルテレビ（MCN）

・全国高等学校野球選手権宮崎大会（7月）

1回戦～準々決勝を全試合生中継（2会場中継）

「一球入魂～栄光への道～」高校野球中継を前にワイワイエリア内の野球部11校を紹介

◇九州イチオシ！

九州各県のケーブル局が参加し地域の「イチオシ！」の行事やグルメ・スポットなど紹介

※ワイワイからは2番組を発信

①千年へ駆ける 御田祭

②菓子工房そらいろ（高千穂町三田井）

◇その他 特別番組

関係機関と番組を共同作成

地域情報チャンネル・s a t o n o k a 4Kを通じて

県北の祭りや景色、グルメなどの魅力を全国の視聴者に発信

9月 おまつりニッポン「美郷町の御田祭」（JCTA × ワイワイ）

1月 壮観劇場「神宿る水源 奇跡の清流」（JCTA × ワイワイ）

2月 イッツア麺ワールド「辛麺」（JDS × ワイワイ）

「田舎で暮らそう～延岡編」（JDS × ワイワイ）

10月 まるっと全国！ケーブルテレビLIVE「池袋ハロウィンコスプレフェス」中継

TDN（全国のCATV18社）共同での中継コンテンツを制作

今年度は10月開催のハロウィンイベントを生中継

（4）メディア発信力強化

◇FMひゅうがとの連携

・高校生ラジオ

ワイワイエリア内の高校に通う高校生が自分の学校の取り組みや流行っていることなど紹介

（今年度は10校の高校生が出演）※999ch・FMひゅうがで放送

3月1日（日）～放送：特別番組「高校生ラジオ～卒業スペシャル～」

今年度、卒業する生徒に3年間の思い出などを語ってもらった

- ・FMパーソナリティがレポーターでTVに登場
ラジオパーソナリティが地域のイベントや行事をレポートしたり、参加者にインタビューしたりして独自の目線でニュースを発信

◇SNS発信強化（ワイワイ×劇団スカッシュ コラボ）

ショートドラマで絶大な人気を誇る動画制作集団「劇団スカッシュ」とのコラボ企画を実施
延岡市を舞台にショート動画を制作（32本作成）
延岡市内の観光スポットや地域のスーパーなどでロケを実施
ワイワイテレビ部のメンバーも出演
完成した動画はワイワイのSNSでしか視聴できないものもある
※中には1000万回以上再生のものも

◇中継番組充実

- ・「FC延岡 AGATA公式戦」（4月）
ホーム開幕戦を生中継 中継ではスタメンや活躍した選手の名前テロップも挿入
 - ・「日向・東臼杵・延岡・西臼杵地区 中体連陸上競技」（6月）
4地区合同で開催された中体連の陸上競技の様子をトラック競技中心に放送
 - ・「第48回 まつりのべおか」（7月）
ばんば総踊りを中心に放送 県外在住者にも見てもらおうとYouTubeでも配信し
1.1万回弱再生されている
 - ・「第49回 日向ひよっとこ夏祭り」（8月）
ステージの様子を中心に祭りを生中継
YouTubeでも配信し8千回弱再生されている
 - ・「尾末神社 だんじり」（11月）
祭りの一番のみどころ さしくらべの様子を生中継
YouTubeでも配信し5千回再生されている
- 延岡市長選挙・美郷町長選挙など
開票場の様子を交えて当選者の声をどこよりも早く地域住民に伝えた

◇その他の特別番組

- ・おだいしさんパレード（5月）
参加者へのインタビューを交えながら参加した全団体を紹介
- ・ジュニアゴルフチャンピオンシップ（5月）
全国各地から約100人が出場 番組では全選手のプレーをダイジェストで放送
- ・のべおか天下一薪能（12・1月）
10月11日（土）開催の薪能を延岡の能の歴史に触れながらダイジェストで放送

- ・のべおかPUYO LEAGUE（1月）
レベルに関わらず誰でも楽しめるようにブラッシュアップしたことでさらに盛り上がった

（５）その他レギュラー番組

◇Wa！FULLコーナー

- ・「特集」
イベントや行事、人物など地元で注目の情報をジャンルを問わずわかりやすくお届け
- ・「グルメはメグル」
飲食店のおすすめメニューを紹介 食に関するイベント情報なども発信
- ・「てげてげ珍道中」
日向市出身のお笑い芸人「堺たいよう」が地域を巡りロケ先で出会った人と交流
- ・「おしえて！よのなか先生」
県北で活躍している人に仕事の内容ややりがいなどをきく小中学生向け

◇その他レギュラー番組

- ・「ワイワイ釣り三昧」
ワイワイエリアの釣り情報を紹介 1月には読売ジャイアンツ戸郷翔征選手が出演
2月にはジョニー黒木さんが出演（宮崎ケーブルテレビでも放送）
- ・「ユネスコエコパーク紀行」
宮崎・大分にまたがる祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力を発信する番組
（えんてれ・長崎ケーブルメディアでも放送）
- ・「WGC evolution」
eスポーツ魅力発信番組
ワイワイ所属プロプレイヤーによるeスポーツ講座などを放送
- ・「黒木渚のひょっとこどっこい」
日向市出身の音楽家で小説家の黒木渚さんが地元日向への思い、音楽への思いを語る

事務局 上原：以上が今年度の自主番組放送実績の報告です。

牛島委員長：ありがとうございます。

審議委員の皆様には、「ひむか遺産#1」（14分）をご覧ください、令和7年度の自主制作番組の放送実績についてもお1人ずつご意見をお願いいたします。

ひむか遺産#1 延岡城跡（14分）

○番組視聴を受け○

牛島委員長：令和7年度の自主制作番組の放送実績とご覧いただきました「ひむか遺産」について、お1人ずつご意見をお願いします。

森下 委員：延岡城前編を見させていただきまして次も見たいなあと思うような番組構成でした。後編を見逃したのが残念でした。機会があれば次も見たいなと思いました。またひむか遺産で耳川水系のダム編が流れておりまして、弊社では水力発電所が五ヶ瀬川にありますので、五ヶ瀬川編というのもあるのでしょうか。

事務局 佐川：まだ作ったことはありませんが是非機会があれば作りたいです。

森下 委員：ワイワイ釣り三昧ですが、子どもの友人が興味津々で見しており、次の日早々に釣りに行きました。またWa!FULLでウルスラの卒業式の模様が放送していて、親に感謝の気持ちを伝えていてすごく良いことだなと思いました。なかなか自分で親に感謝の気持ちを伝える機会がないですが、テレビを通して伝えることができ、いい番組だなと思いました。

牛島委員長：今のお話で何かお答えする部分はございますか。

事務局 佐川：はい。補足ですが、弊社のYouTubeチャンネルに各コンテンツ上げております。ひむか遺産の続きもYouTubeチャンネルでご覧いただけます。

吉田 委員：甲斐先生の話が面白くて続きも見てみたいなと思いました。ひむか遺産の番組については昔の人々の暮らしとか、歴史に思いを馳せてそのあと我々が何を考えるべきか、今の私たちにどう生かせるかなどの案内があればもっと面白かったのかなと思いました。またキッザニアや高校生ラジオなど、子ども向けの企画など豊富にされておりいい取り組みだなと思いました。質問ですがコネクリ延岡やSNSでショートドラマを作られています、ショートドラマを見て、実際に観光地に人が増えたり、ショートドラマを通しての先のふくらみが知れたらいいなと思います。

事務局 佐川：はい。ありがとうございます。SNSで全国に発信して関係人口増の狙いですが、ワイワイが関わっているコンテンツがきっかけで来たという数字などの実績や、全体的に観光客が増えたか否かの部分も含めて現状リサーチはできておりません。先ほど触れていただいたコネクリ延岡も今年度3回目を迎えましたので、発信や再生の数だけではなく、徐々に成果の部分もメディア事業部だけではなく弊社全体としてリサーチをかけるタイミングにきているのかなと改めて思っているところです。吉田さんのコメントをヒントにして次の動きに繋げていきたいです。

甲斐 委員：客観的にみると少し恥ずかしいです。昨年歴史や文化についての企画をやりたいと史談会へお声掛けがありました。制作していく中で、ナレーションで言い間違いがあり

取り直しかなぁと思っていましたが、今はAIを使って数字の訂正をしていたのでビックリしました。こういう時代なんだなと感心しました。色々発信して思うのが難しいことをいかに優しく簡単に、子どもから大人まで満足していただけるかという発信の仕方ですね。おっしゃる通り、気をつけてはいるのですがどれもなかなかです。今回はいい機会を与えていただいてよかったなと思います。

民間のメディアの核となるのがケーブルメディアワイワイであると思いますので、メディアミックスを含めてUMK、NHK、それからMRT、そして夕刊デイリーさんともっともっと壁を取っ払って行ってほしいです。地元発信ということで、リーダーシップを図って行って、いろんな知恵を出してこれからも頑張ってください。

小田 委員 : ほとんど歴史は全然勉強をしていなかった私でも甲斐先生の解説がとても分かりやすかったです。今回は非常に勉強になりました。是非日向でもやってほしいです。全体的には日向の情報があまりないなあ。という印象です。

事務局 佐川 : はい。エリアの規模、加入数などいろいろ鑑みてバランスよくはやっているつもりではあります。先日は耳川水系のダムを巡ったり、細島的美々津でロケしたり…川南都農までエリアが伸びているので、各自治体単位で見ると「うち少なくない？」と思う部分もあると思います。エリアが広い分、責任感を持ってメンバー同やっていききたいと思います。小田さんの声もありがたく頂いて、広く一方で深く引き続きやっていきたいと思います。

後藤 委員 : 7年度の事業を見させていただいて、すごく頑張ってらっしゃるなぁと心から思いました。災害時の様子は必ず見ますし、選挙番組やいろいろな番組制作、今時の状況に合わせたようないろんな取り組みが本当に心からすごいなと思っております。見逃した、知らなかった、こんなのあったんだっていうのがすぐそこに見ようと思ってパッとたどり着けるものがあるといいなと思いました。NHK ONEみたいにワイワイのみたい番組を自分から拾いに行ってみようというサイトなどあるといいなと思いました。

事務局 佐川 : はい。ここ数年「一生懸命作っているけど、どれくらいの人に届いているの？」というのを改めて考えるようになって、後藤さんが仰ったとおり発信力の強化というのを意識してやっています。よりやりやすい形ができないか、というところは常に考えていますがちょっと難しいラインでもあります。というのが基本的にはうちは加入者さん向けのサービスとして、ケーブルテレビに入っていない方は、999チャンネルや各チャンネルが見られないという仕様になっているので。どこまでオープンにするのか話し合いが必要になってきます。自ら拾いに行けるようなシステムはあります。県外のケーブル局がケーブル版ユーチューブ的なものを開発しているのでそれを活用する手段もあります。

また弊社が来年度35周年という節目の年になります。アーカイブ素材を活用して皆さんに届けていきたいなと思っております。

佐藤 委員 : 先ほど見た映像のひむか遺産の延岡城編ですが、私も延岡城に詳しくなくて、昔の映像と今の映像でわかりやすく伝えていて、甲斐さんの解説もあってすごくわかりやすかったです。ぜひYouTubeでも続きを見てみたいと思いました。全体的な制作についてなんですけど、住民参加型ということで、住民の方が参加することで、そのワイワイのチャンネルを見る方が増えるのかなって思いました。SNS発信のショート動画やコネクリ延岡ですが、もっと日向でもやっていただけるとありがたいなと思いました。以上です。

事務局 佐川 : はい。年度でいろいろ考えていますが、「絶対に延岡だけ」というスタンスでは弊社としてもなくて、何かしらの形で広げていければなと思っています。ただ一気に、日

向エリアまで伸ばしてしまうと管理が難しいだろうなと思っています。次年度も今のところやる予定で、少しずつ準備を進めていますので、皆さんからの声も参考にまた検討して行きたいと思います。

野中 委員 : 延岡で生きてきて、80年過ぎてきましたが延岡城の話を聞いてあらたに違った面で見ることができ、とても勉強になりました。これだけの面白くていい情報を作っているのに、どれだけの人が見ているのだろうと思いました。なんかいい方法はないのかなと日頃から考えていて、うちに来た親戚とか孫とかひ孫とかにワイワイテレビのことを話すようになりました。ここに出席するようになってからですが。また前川清の番組や、ポツンと一軒家とかあいう番組を見るとほっとするんですよね。見ていただくためには、何があるのだろうかというふうに考えたときに例えば合唱グループやダンスをするグループ、書道、絵画などを放送すると「あ、うちの孫が出るよな」という情報が入って、じゃあワイワイで見ようかなってなると思います。非常にドキドキワクワクするものですよ。だから特に自分の孫が出たなんて言った時にはもう焼酎を飲むのを忘れるぐらいでその番組に集中するかもしれません。

事務局 佐川 : ありがとうございます。まずは野中さんが委員になられて、定期的にご家族ご親族にも誘導してくださっているということがまず一歩目でもあるかな、というのは思っております。皆様、委員になっていただいたきっかけで、10年前20年前に比べたら間違いなくテレビを見ている時間って減っているとは思うのですが、その中で我々に認識を向けていただけているその時間があるだけでもすごく大きいかなと思います。本当に日々感謝しております。最後にアイデアとして、野中さんからいただいた文化活動系の団体紹介とかに関しては、次年度でも計画しております、この後少しご紹介させていただきますのでお楽しみにお待ちください。

牛島委員長 : ひむか遺産ですが本当に素晴らしい内容でしたし、知っているようで知らないことがたくさんあるなということに気づかされました。あの辺りはよく行くのでまた違った目線で見ようと思います。自主制作番組につきましては、コンテンツ的にはすごく幅が広くて、いろんなジャンルを網羅されているなという印象でした。逆に広げすぎて、一つ一つが疎かにならないように、丁寧に作っていただければと思っております。また政治的な話になりますけど、延岡市長選の3陣営のうち、2陣営しか行っていなかったというところで、それは大丈夫だったのでしょうか。

事務局 上原 : はい。3陣営とも一応行っていると思います。

牛島委員長 : UMKさんとペアで行ったのが2陣営ということですか。

事務局 上原 : はい。そうです。残りの1陣営に関しては、ワイワイとワイワイっていう感じです。

牛島委員長 : なるほどです。そこが公平中立という部分でちょっと気になりました。それとこのスナックめぐりは事務局が選んで行っているのですか。

事務局 佐川 : そうですね。会社の企画としてウェブアプリを立ち上げて、そこに登録していただいた店舗をまず巡っています。やはり延岡、日向、宮崎県全体がスナック文化というのが個性としてあると思います。それをより盛り上げていければということで、ママカードをコンプリートする遊びがてら、ちょうど延岡・日向にいらっしゃった方も足を運んでいただけるような形になっていけばいいなと思っています。まずこのアプリが動いて、それに連動した映像コンテンツを作ろうというところで、担当ディレクターが色々考えて、ドラマ仕立てで作っております。まずは登録していただいているスナックさんから順番に回って回っています。「何であそこは行って、うちは来てくれないの？」という状況は発生しないようにしていきたいと思っています。

4. 報 告

『令和8度自主制作番組編成方針について（報告）』

◆事務局報告（報告：事務局 佐川）

テーマ「人と人・地域と地域を繋ぐコンテンツにより街を楽しく元気に！」

「住民参加型コンテンツ」「新規コンテンツ開発」「発信力強化」「他社との連携」の
4つの柱を軸にコンテンツの制作・編成に取り組み、より地域とともに作り上げるコン
텐츠を目指していく

①住民参加型コンテンツ

- ・レギュラー番組 2番組継続
 - ワイワイニュース（15分 月曜～金曜更新）※土・日再放送
→「出来事」を軸に
 - Wa!FULL（30分 月曜日更新） ※土・日再放送
→「人」を軸に
 - ◎公開収録…平日の番組収録→休日のコーナー収録
- ・その他の改編番組
 - 太陽のこどもたち→（Wa!FULLへ）
 - 特集→（ニュースへ）
 - 吉本の宮崎県住みます芸人を起用したバラエティ・テレビ部出演コーナー
→ブラッシュアップさせた形で継続
- ・回数減（毎月→隔月）
 - ユネスコエコパーク紀行
 - WCGevolution

②新規コンテンツ開発

- 活動紹介
→地域のサークル・学校の部活等 様々な団体を紹介
より幅広い巻き込みを展開
- アーカイブ活用企画
→来年度 ワイワイは35周年の節目の年
これまでのコンテンツを有効活用

③他社との連携強化

- UMKテレビ宮崎
 - ゴールデンゲームズinのべおか共同制作
 - 選挙報道の連携
 - 災害時の連携
 - ニュース取材の連携
- 夕刊デイリー新聞社
 - 情報の共有化

- NHK宮崎
 - コンテンツの相互提供
 - 情報の共有化
 - 災害時の連携
- その他メディア・団体
 - CATV業界各社との連携・異業種との連携
 - 連盟のおまつり紹介コンテンツで2本採用

④発信力強化（SNS活用強化）

- ワイワイ新規ファン獲得・プロモーション強化
 - ワイワイ×劇団スカッシュ コラボを2026年度も継続
 - テレビに限らずSNSを含めたメディアとしての発信力を強化し
 - 新たなファン獲得、地域での存在価値向上を目指す
- 多様な視聴形態
 - 即時性の高いニュースなどはSNSやインターネットライブ等で発信
 - 最適な届け方を検討し、ケーブルメディアワイワイが発信する何らかのメディアに市民が毎日触れる環境づくりへ
- 有事の際のメディア
 - 行政・団体・市民からの情報集約方法を確立し、広く発信することで必要とされるメディアへ

令和8年度特別番組

【議会中継】

- 延岡市議会定例会一般質問（6・9・12・3月）

【イベント】

- NHKのど自慢 予選会（4月）
- 延岡今山大師祭市中パレード（4月）
- まつりのべおか出会い神輿・ばんば総踊り（7月）
- 日向ひょっとこ夏祭り（8月）
- のべおか天下一薪能（10月収録・1月放送）
- 尾末神社秋の大祭（11月）
- コネクリ延岡（1月）
- PUYO LEAGUE（2月）
- キッザニア（2月）
- 延岡花物語ワイワイグルメ博（3月）

【スポーツ】

- ひむかジュニアゴルフチャンピオンシップ（3月）
- ゴールデンゲームズ in のべおか（5月）
- 西階球場こけら落とし試合（5月）

- 日向・東臼杵・延岡・西臼杵 中体連陸上競技（6月）
- 一球入魂～栄光への架け橋～（6月）
- 宮崎フェニックスリーグ（10月）
- 九州サッカーリーグF C延岡A G A T A（未定）
- ※国スポ・障スポ関連のプレ大会中継も予定

【選挙】

- 門川町長選挙（4月）
- 日之影町議会議員選挙（10月）
- 高千穂町長選挙（12月）

【その他】

- 戦争特番（8月）
- W a ! F U L L 年始スペシャル（1月）
- 高校生ラジオ卒業スペシャル（3月）

事務局 佐川：以上が、来年度令和8年度の自主制作番組編成方針です。

ケーブルメディアワイワイは、様々なコンテンツを通じて、地域に愛され、地域の役に立つ企業を目指してまいります。

審議委員の皆様のご意見を何卒よろしくお願い致します。

牛島 委員長：ありがとうございました。それでは只今の報告についてご意見があります方は、ご発言をお願いいたします。

甲斐 委員：ケーブルメディアワイワイが地域のメディアの核としてあってほしいと思います。僕らが言う旧延岡藩領域のリーダーとして、延岡市・門川町・日向市などともっと連携していただきながら、時間をかけて人口減少社会に立ち向かっていく。などという漠然としていますが、もっともっとリーダーシップを取ってほしいなと思いました。

事務局 佐川：本当におっしゃる通りだと思いますので、関わっていただく皆様にもちゃんと還元できるように一緒にいろいろな発信、コンテンツ制作、関わりをしていければと思います。

吉田 委員：私たちの門川町総合文化会館も来年度開館35周年です。ワイワイさんと一緒に冠事業ができたらいなと思いました。もし企画があれば一緒にやらせてもらってPRさせていただきますので、お声かけいただければと思います。

また今年度、コネクリ延岡のクリエイターで参加しました。皆様のご協力があったですけれども観客賞を受賞いたしました。参加して思ったのですが、本当に素晴らしいネットワークや地元のロケ地などをワイワイさんが持ってらっしゃいます。その活用法も縦型動画だけでなく、本格的な映像作品とかを作れるような土台があるんじゃないかなと思いました。そういうところも含めて、今後動いていただけたら、さらに大きなものができるんじゃないかなと思いました。本当に素晴らしいネットワークがあるので、ぜひ来年も生かしてってください。

牛島 委員長：その他ございませんか。それでは私のほうから総括をさせていただきます。

編成方針としては、本当にこの流れで結構なのかなと思います。あとは公正中立なところに気をつけていただきながら、制作にあたっていただければと思っております。ワイワイさんの強みというのは、やはり地元密着だと思います。先ほど吉田さんからありましたように、ネットワークをだんだん強化されてきていますので、引き続き発信力の強化をしていただければなと思っております。

またせっかく作ったものを多くの皆さんに見ていただくということが非常に大切ななと思っておりますので、そういう部分では夕刊デイリーさんとか紙媒体のメディアさんとも連携をしていって、こういう番組をやっていますよという広告を少しでも打つことが大事だなと思っております。

「ああこういうことをやっているんだ。こういう番組があるんだ」と夕刊など見る方がいらっしゃって契約に繋がる場合もあると思うので、いろいろ工夫をしながらやっていっていただければと思っております。

それでは『自主制作番組の令和7年度放送実績と令和8年度編成方針』について、ご賛同頂ける委員の皆様は拍手をよろしくお願いいたします。

(拍手) 議案承認

牛島委員長：以上をもちまして令和8年放送番組審議会を全て終了致します。
皆様どうもありがとうございました。

以上、放送番組審議会の議事録1通を作成し、事務局である株式会社ケーブルメディアワイワイが保管する。

令和8年3月10日

議事録署名委員 委員長

牛島 宏 (印)